



大平小一年生の良い子たち

# 学校生活を

## 楽しく送るために

### —入学の心得—

#### 基本的な しつけを

しつけは早いほどよいといわれています。子供の問題点をよく知り、学校生活が楽しくスムーズにスタートできるように、次のような基本的なことはきちんとしつけおきましょう。

- 「はい」とはっきりいえる。
  - 衣服がさっさと着脱できる。
  - ひもが結べる。
  - はしを正しく持って食事ができる。
  - 自分の言いたいことがはっきり言える。
  - 元気のよいあいさつができる。
- (おはようございます。さようなら。ありがとう。)

#### 心の疲れを

#### 見抜こう

勝気な子供が学校に行きたくないときは「イヤ」と口に出してゴネますが、内気な子供は腹が痛いとかが頭痛いとかいって間接的に表現します。

イヤになった理由はと聞くと、

#### まず友だち

#### づくりを

これまで家庭の中で、お山の大将をきめこんでいた子供たちも、学校に入ると周囲は見知らぬ顔ばかりです。しかし、友だちづ

くりは急速に進みます。一日も早く友だちをつくるのが、子供たちにとって通学をより楽しいものにする第一の秘けつです。

自己主張の強い子は協調性に欠けるところがあり、集団の遊びになじめず、すぐけんかを始めたりします。また、口の重い子とか、神経質な子は、集団生活のなかでがまんすることがなかなかできません。こういった性格の子供に対しては、母親はそれとなく手助けをし、一日も早くみんなと一緒に遊べるよう導いてやってください。

#### 登校前は

#### ゆとりをもって

子供を交通事故から守るには、ふだんから交通ルールをよく教えるとともに、朝、学校に送り出すときは、次の点に十分気をつけましょう。

- ◎ 出かけるときはしからさない
  - ◎ 忘れものをさせない
  - ◎ 通学時間にゆとりをもたせる
- また、時間にゆとりがなかったり、忘れものをして途中から引き返したりすると、非常にあわてると注意力が散漫になり、事故のもとになりますから注意しましょう。

一方、車を運転される方は、こうした子供の行動特性を十分理解して、子供を見たら「赤信号」と思い、細心の注意を払いましょう。

## ただ今、春の火災 予防運動実施中

二月二十八日～三月十三日

この時期は空気が乾燥し火災の起こりやすい季節です。特に山での火入れや、たき火などはちょっとした油断から大火になります。

今年も二月二十八日から三月十三日までの二週間「春の全国火災予防運動」が行われていますが、お宅の火の元は大丈夫でしょうか。

△火災原因  
たばこがトップ▽

昭和五六年中に発生した火災を火災原因別にみると、第一位は「たばこ」で以下、「火遊び」、「たきび」の順です。

このうち、「たばこ」による火災の数は、例年、火災全体の一二～一四割を占めます。たばこが原因となった火災で、いちばん多いのが「投げ捨て」によるもので、約六割です。

周りに燃えるものは何もないと思っても、風に吹かれて転がっていったり、踏んで消したつもりでもくすぶっていたりして危険です。

毎年、二月～三月にかけては、空気が乾燥し風も強く吹くため、ふだんなら立ち消えになってしまふような小さな火でも火災につながるものが多くなります。

たばこを吹う人も吹わない人も豆粒ぐらいの火とあなどらずに、たばこには十分注意してください。

なお、火災発生時の問い合わせは「〇八三七二二一四一四」番へ。

山口県町村議会議長会自治功  
労者表彰

平川三照(二〇年以上在職)  
植山一男( )  
宮垣高明(二年以上在職)  
山須芳男( )